

ワーク中心

プログラム番号 3001B

大人数でも進度を落とさずアクティブラーニング ーTBLと言う反転授業のやりかたー

■講師

立川 明（高知大学 大学教育創造センター 准教授）

S62年高知大学理学部卒。H10年九州大学にて博士（工博）の学位取得。H2年より高知大学理学部化学科助手。計算化学と情報処理の教科書執筆。H16年より大学教育創造センター准教授。参加型授業の開発、担当。実践をふまえたアクティブラーニングに関するFD研修講師学内外で多数担当。アクティブラーニングの成果をまとめたTips執筆。

■プログラム概要

グループワークを取り入れてみたけどうまくいかず悩んでいませんか？ 知識獲得のための授業なのに、どうやってグループワークをやったら良いのか困っていませんか？

TBL（チーム基盤型学修）は知識獲得に適した能動学修の手法です。受講生が多くてもアクティブラーニング初心者でも失敗しない手法です。しかも成績が上がり同時にコミュニケーション能力も高められます。

以下の順序で進める予定です。

1. グループの作り方
2. アイスブレイキング
3. I R A T（個別準備確認試験）
4. G R A T（グループ準備確認試験）
5. 良い問題の作り方（ミニレクチャー）
6. ふりかえり

■準備物や事前課題

Tips 5 を事前に読んで下さい。

(<http://www.kochi-u.ac.jp/daikyo/publication/tips.html>)

■主な受講対象

TBLを使ってみたい教員。

講義をアクティブに変えたい教員。

成績を上げたい教員。

同時学修で学生の評価的思考力、サイエンスコミュニケーション力を高めたい教員。

■本プログラムの到達目標

1. 予習に始まるTBLの流れを同僚に説明できる。
2. 良い問いの条件3つを説明できる。
3. 自分の授業でTBLを行うための準備ができる。

■日時・場所

日時：平成30年8月30日（木）10:00～12:00

場所：香川大学幸町北キャンパス